

GT-Rスピードワゴン 谷田部対策その1

クアンタムをリセッティング  
スピードワゴンSPLを作る

ちなみにクアンタムのショックは減衰力アジャスター付きで27万8000円、アジャスターなしが24万8000円（どちらも1台分）。適応車種はR33、R32、FD、ユーノスロードスター、そしてEG8のシビックとなっている。



トリアールプロジェクトのクアンタムも完備。エンジンチューンだけでなく、足まわりチューンも最新機器を使用してセッティングを行っているのだ。



これで足まわりは完璧やで〜！

今回の車検取得でわかったことなのだが、我がGT-Rワゴンはスタンダードボディに比べてリヤセクシジョンが約80kgも重たくなってしまった。

もちろん、これは最初からある程度予想されていたことで、重量増を最小限に抑えたいのならルーフはFRP、ガラスもアクリルにしてしまえばよかったのだ



アチャー 楽しみだ。

数々のクルマがらみの借金を返すために、今日もパチンコに出勤のDai。スピードワゴンで初めて乗り着けたお店は、あいにく定休日。残念でした。

高速だけでなくゼロヨンタイムもグッとアップすることだろう。

とにかく、今回のトライは超高速域でもスピードワゴンのボディに問題がないことが確認できただけでも収穫は大きいのだ。

ま、目標の300km/hオーバーは達成できなかったけど、実はこのレスポンス仕様のエンジンをオレは結構気に入っているの、気温が下がってタイルの出やすくなる秋以降までこのまま乗っているつもり。せっかく自走で全国を回れるようになったのだから、とりあえず走りまくる予定なので、みんなも見かけたなら応援ヨロシクな！

が、それでは仕上がりは今のレベルまで到達できなかったハズ。つまり、我々は重量的にハンテを背負うことがわかっていても、あえてルーフは鉄板で、ウィンドウもすべてガラスとすることで仕上がりの美しさにこだわったのだ。

しかし、美しさの点では大成功だった今回の選択だが、やはり走りという面では若干の不安があることも確か。

そこで、現在装着されているGT-R用クアンタム&BESTEXキットをスピードワゴン専用にもディファイすることにしたのである。

足まわり開発担当のトライアルプロジェクト・マッキー牧原氏によれば、今回は谷田部のバンクを考慮して全体的にシートをアップ。特にリヤは重量増を考慮してかなり硬めのセットにしたということ。

具体的には何回かテストした結果、減衰力自体はクアンタム自慢の調整機能によって硬めに、スプリングはフロント15・5kg/個、リヤ14・0kg/個という設定に落ち着くことになった。

Daiによれば、確かにハードな足まわりだけど、ロールケースによってボディ剛性に不安がないせいか、シッカリと動いてくれているとのこと。さらに、直進性にも全く問題ないので、バンクでもバッチリ踏んでいけるとのことだ。

また、ハンドリングの本格的なテストは行っていないけれど、これならばかなり期待できちゃいそうだな。

GT-Rスピードワゴン 谷田部対策その2

シンプソンの4点式で  
万が一のアクシデントにも万全



リヤのショルダーベルトはロールケージにマウントされているのだ。もちろん、強度はバッチリだぜ！



これ エッチでいいなあ〜

リヤシートは強制的にちょっと股を開く格好になってしまう。ミニスカギャルだったら……。



真っ赤なシートベルトがインテリアにマッチしてるでしょ？ フロントシートは3インチの幅広ショルダー、リヤシートは2インチのショルダーベルトタイプを装着している。シンプソン4点式カムロックシートベルトの価格は3インチが4万7000円で、2インチが4万5000円となっている。

ワゴンとしては異例のオーバー300mm/hを目指しているだけに、安全装備の充実にも力を入れなければならぬのは当然。もちろん、安全面だけでなく、スポーツ走行もピンピンにこなす予定だけに、レカロRER-II OPTスベシャルのホールドを高めるとい意味でも、GT-Rスピードワゴンには信頼のシンプソン4点式フルハーネスを4席全部に装着することに決めたのだ。

なにしろ、このシンプソンのフルハーネスはDaiがボンネビルでも使用していた物と同じ。つまり、今までもDaiが命を預けてきた信頼の逸品なのである。しかし、フロントだけならともかく、リヤシートにも装着するというのは意外と大変な作業だった。適当に取り付けたのでは、せっかくのフルハーネスの意味がなくなっちゃうからね。

そこで、いろいろと試行錯誤した結果、トライアルのスタッフが知恵を絞って、リヤのショルダーベルトはロールバーに固定することで一件落着。

穴開けやステーの溶接などの作業を経て、どうにか全席にインテリアカラーとコーティネットされた真っ赤なフルハーネスが装着されたのだ。

これで、ハイスピードランも安心してきちゃうんだけど、やっぱり事故らないのが一番。安全運転でいきましようね、Daiちゃん！